

(仮称) 朝来医療センター基本構想・基本計画(素案)への意見(パブリックコメント)募集結果

「(仮称) 朝来医療センター基本構想・基本計画(素案)」への意見(パブリックコメント)を募集したところ、50名の方からご意見をいただきました。貴重なご意見ありがとうございました。

いただいたご意見の概要とそれらに対する病院組合の考え方を公表します。

今回いただきましたご意見は、病院組合の今後の取組の参考とさせていただきます。ご協力ありがとうございました。

1. パブリックコメントの実施状況

(1) 募 集 期 間 平成24年2月22日(水)から3月14日(水)

(2) 応 募 者 数 50名 (120件)

(3) 提出意見の内訳 ① 地区別人数(単位:名)

	和田山町	山東町	朝来町	生野町	豊岡市	計
人 数	20	13	10	6	1	50

② 提出方法 (単位:名)

	郵送	持参	FAX	Eメール	計
人 数	10	21	14	5	50

③ 意見の種類(単位：件)

項目	件数
基本構想	8 6
基本理念・基本方針	3
新病院の主な診療機能	3 9
整形外科	1
救急医療	4
その他 外来診療	1
その他 訪問診療を中心とした在宅医療	1
その他 産科、小児科	1 6
その他 診療科の増設	4
その他 住民健診、人間ドック	4
その他 併設施設	3
その他 新病院について	5
医師にとって魅力ある環境整備	7
地域連携	6
新病院の診療科目、病床数	5
病床規模	5
新病院の建設予定地	1 9
建設予定地	1 1
新病院へのアクセス	8
現医療センターの後利用	7
基本計画	1 5
施設整備方針	1 0
医療機器・医療情報システム整備方針	3
医療機器整備方針	3
事業費	2
その他	1 9
合計	1 2 0

2. 意見の概要と病院組合の考え方

(1) 基本構想

項目	該当箇所	意見の概要	意見に対する病院組合の考え方
新病院の 基本 理念・基 本方針	(1) 基本理念 (2) 基本方針 (運営方針)	基本理念・基本方針を忠実に守り、充実した医療提供は勿論のこと、患者に対し、親身になり心の通った受付業務であることを願う。	基本理念に掲げているとおり、地域住民が安心して暮らすことができるよう、地域密着型の医療に努め、地域住民に信頼される医療を提供してまいります。(原案どおり)
		医者は地元患者の病気を知り治療に当り、患者の信用を勝ちとってほしい。	
		職員の教育をすること。	基本方針に掲げているとおり、患者様の権利の尊重や、心のこもったきめ細かい医療を提供するように、職員に周知してまいります。(原案どおり)
新病院の 主な 診療機 能	(3) 整形外科	北近畿における整形外科の中核病院を目指した運営として、他院の整形外科の入院、手術を新病院に集約してはどうか。	但馬地域は広範囲であるため、他病院との役割分担を踏まえた上で、新病院は、南但における整形外科の診療機能について、ソフト、ハード両面から充実を図ってまいります。(原案どおり)
	(4) 救急医療	救急の充実を希望する。	新病院では、八鹿病院との連携と役割分担のうえ、医師確保状況にあわせて、コメディカルを含めた救急体制の充実に努めてまいります。(原案どおり)
		救急対応をお願いしたい。	
		朝来市に必要なのは1分でも早い処置の求められる患者への対応であると考えてる。	2次及び3次救急等については、連携検討会議の報告書に記載され、広報紙ほすぴたるで周知したところです。また、病院組合ホームページでもご覧いただけます。(原案どおり)
		救急医療体制の充実と合せ、2次救急・3次救急に対する対応のあり方や機能について、市民へ周知する内容(解説)を掲載して欲しい。	

(5) その他 1) 外来診療	医師確保は難しいため、眼科は日高医療センターに重点化する等、少し診療科目を重点的にした方がよいのでは。	新病院の外来診療は、患者さんの利便性から、現在行っている外来診療科を引き継ぎ行う予定としております。(原案どおり)
(5) その他 2) 訪問診療を中心とした在宅医療	新病院での訪問診療は、将来在宅治療の増加を考えると可能なのか	地域医療を推進することにおいて、在宅医療は重要であると考えており、医師の状況や、患者さんの状況を踏まえて対応してまいります。(原案どおり)
(5) その他 産科、小児科	少子化も進んでおり、朝来市には無い産婦人科や、和田山町の開業医に頼っている小児科の診療科の設置を希望致する。(同種の意見他 6 件) 産科をと思うが、但馬の医師不足を考えると無理だと理解する。八鹿病院との連携で対応できればと思う。 この機に診療科の充実を図るべき。少子化傾向を踏まえ、病院として積極的に子育て支援と安心して子供を産み育てる環境づくりに行政・地域とも一体となって取り組むことが重要。小児科や産婦人科を新設すれば、他地域の人々の利用率も上がる。 少子化対策の面からも地域活性化の源となる現役世代に対するサービスがよく見えない。産婦人科はどのような連携プレーで安心を確保するのか明示しておくことも大切。 小児科の設置を希望する。特に、救急時の対応について充実して欲しい。(同種の意見他 3 件) 但馬地域の周産期医療体制では、豊岡、日高、八鹿の	～小児科について～ 小児科は一次医療で対応できる軽症の患者さんが多く、この方々については、診療所での対応や夜間における小児救急電話相談で対応可能と考えており、入院が必要な患者さんは少ないと考えています。新病院の診療機能としては、小児科よりも高齢者への対応を充実させる考えでおります。(原案どおり) ～産科について～ 厳しい産科医療体制の中、但馬全域を対象にした但馬こうのとり周産期医療センター検討会議の中で、北但地域は豊岡病院で、南但地域は新病院ではなく、八鹿病院での機能を継続できるよう、取り組んでいくことが重要であるとの結論が出ました。産科については、その方向で進めてまいります。(原案どおり) 医師の確保が厳しい中、産科の体制整備は、北但

		3院のみでは、厳しいのではないか。	の豊岡病院と、南但の八鹿病院を維持する事が妥当であると考えています。(原案どおり)
		組合間のネットワークを構築して、助産師外来を検討して欲しい。	但馬こうのとり周産期医療センター検討会議の中では、助産師外来は、豊岡病院と八鹿病院で実施するとされています。(原案どおり)
	(5)その他 診療科の増設	耳鼻科やアレルギー科など専門外来もあると良い。	新病院では、今後増加する高齢者に対応した入院機能に重点化し、入院では内科、外科、整形外科の3診療科を行い、外来は、現在実施している診療科の外来診療を行うとこととしています。その他の診療科は、豊岡病院、八鹿病院との連携を考えています。(原案どおり)
		全科を望む	
		診療科目は、脳神経科は対応すべき。	
		新病院開設に当っては、診療科の増設充実が最重要課題。	
	(5)その他 住民健診、人間ドック	コメディカルスタッフをしっかりと揃え、「人間ドック」を行って欲しい。疾病の早期発見、早期治療につながり、基本理念、基本方針に真に合致する。	新病院では、内科、外科、整形外科の入院機能と、救急対応ができる体制を構築したいと考えています。人間ドックについては、スタッフ等の体制に依じて、今後検討してまいります。(原案どおりとし、今後の検討を行う)
		早期発見を重点にしているのは良い。人間ドックを新病院で積極的に取り組むべし。	
		以前の和田山、梁瀬の両医療センターのように、新病院でも人間ドック、健診を行って欲しい。検診や予防教室は是非実施して欲しい。	
		新病院では町ぐるみ検診を実施して欲しい。	
	(5)その他 併設施設	看病の援護施設も含んで欲しい。	新病院は、高齢者によくみられる疾患への対応に重点を置いた、入院を必要とする患者さんへの対応を行ってまいりたいと考えています。福祉施設との連携については、既存の施設等との連携の充実に取り
		将来の高齢化社会を見据えると、最低でも6階以上で、介護療養施設なども視野に併設も考慮すべき。	
		介護施設、保育園などを隣接させ、医療と共にある複	

		合施設様の場所にすれば素晴らしい環境となり、全国に誇れるモデルケースとなる。	り組んでまいります。（原案どおり）
	(5)その他 新病院について	高度な医療ばかりおうのではなくすべてにおいて充実した病院を作ってほしい。	限られた医療資源の中で、朝来市の将来人口予測に基づき、増加が見込まれる高齢者に対しての医療や、二次救急への対応が、新病院の担うべき医療としております。（原案どおり）
		朝来町、生野町の住民が神崎病院より便利で魅力を感じる病院を作って欲しい。	住民の方々を支える地域密着型の医療に努め、住民の方に信頼される病院を構築していきます。
		患者の信用を勝ちとってほしい。	
		病院建設、都市づくり構想を市民のために希望のもてるものにして欲しい。	
		県下又全国の模範となる様な内容にして欲しい。	地域医療において、他の病院から模範となるような病院づくりに向け努力してまいります。
3. 医師にとって魅力ある環境整備		医師数が不可欠な要素であり、県養成医、奨学金医、地域医療活性化センター等県、組合の昨今の状況や周産期を取り巻く状況も現状として追加すべき。	医師確保は重要な課題ですが、基本構想は新病院の方向性を示すものであることから、医師確保が厳しい現状の中で、新病院を医師にとって魅力のある病院とするよう記載しています。（原案どおり）
		医師の確保が一番大切だと思う。	新病院は、働く医師に選ばれる病院にするべく、研修機能の充実や診療以外の業務負担軽減、安らかに暮らせる住環境の整備を行ってまいります。（原案どおり）
		医師不足のため過重労働にならないように。医師が集まってくれる体質改善と他の市町村からもモデル都市になるようなレベルの高さを今まで以上にして欲しい。	
		高額手当を出しても立派な医師を招くことで病院の魅力が増、若い医師も自然と増加すると思う。	

	医師の医療質の向上を優先すべきで、その為に医師の報酬引き上げに伴う増税は有っても良いと思う。 新病院開設に当っては、診療科の増設充実と共に、医師の確保が最重要課題。 医師を固定して欲しい。	
4. 地域連携	かかりつけ医やケアマネージャー、行政の保健福祉職員との連携のためにも、地域連携室の設置はぜひ実現して欲しい。 退院時の相談、減免等の手続き等、親身に対応してくれるソーシャルワーカーを配置して欲しい。 地域連携室は医療に特化せず、リハビリや介護を含めて機能するような組織にして貰いたい。 費用を最小限で運用できる、リハビリや介護等のサービスと新病院との間で、機能分担と機能共有化を図りながら医療のシステム化を促進する、新病院を核とする地域密着型の「朝来市医療システム」を形成して行く必要がある。 将来、診療科が次々と無くならないように時間と計画をみつにして欲しい。ネットワークで豊岡病院、梁瀬、和田山医療センターが強い絆で結ばれ、良い病院となることを願う。 これまで、両医療センターで出来ていなかったことが、統合したとたんに出来るかのように記載されているが、現実的とは思えない。八鹿、豊岡、神崎その他	新病院では、地域の診療所、他の病院、朝来市の福祉部門やケアマネージャー等との連携の充実に向け、新たに地域連携室を設置いたします。（原案どおり） いただいた意見も参考にしながら、その連携方法について、関係機関と協議していきたいと思います。（原案どおりとし、今後の検討を行う） 医療資源が限られている中、統合による機能充実を進めつつ、他の医療機関との役割分担や連携を進めることで、新病院の医療体制を構築してまいりま

		の病院との連携により、総合的に、結果的に市民がよりよい医療を受けられる事が望まれる。他の病院の補完的な、つなぎ的な役割こそがより効果を生むと考える。	す。(原案どおり)
5. 新病院の診療科目、病床数	(2) 病床規模	医師数を段階的に増し、一日でも早く 180 床規模を目指して欲しい。	開院時は、現状の患者数、医師数等を勘案した 150 床で運用をスタートしますが、なるべく早期に 180 床の病床を稼働できるよう、医師確保を行ってまいります。(原案どおり)
		開院時 180 床スタートは可能ではないか。開院迄の 4 年間の医師確保の予定はあるのか。	
		和田山医療センターなど空床が目立つことも鑑みて、むやみな大規模化が現実的とは思えない。	
		療養ベッド数をふやしてほしい。	
		十分なベッド数を設定して欲しい。	
6. 新病院の建設予定地	(1) 建設予定地	私共年寄りには、出来るだけ近い場所に病院を建設して欲しい。和田山町の久世田地区、玉置地区を希望する。JR 竹田駅に出来るだけ近い所が良い。(高齢者は車に乗れない)	建設予定地は、新病院が朝来市内唯一の公立病院であることから、全地区からの交通アクセスや、敷地面積確保、交通の利便性、災害対応の面から選定しました。 なお、新病院への公共交通機関等のアクセス手段については、関係機関と協議を行いその確保に努めてまいります。(原案どおり) また、今後、具体的な建設予定地を決めていく旨の表記を付け加えます。(本文修正 P.10 (3)今後
		生野町、朝来町の人々は病院が遠くて困っていると思う。予定地より南の久世田附近が適当でないかと思うので再検討願いたい。	
		公共交通(バス)の利便性を良くすれば他の場所も考えられると思う。地域の発展、交通の利便性、用地買	

		収など総合的に検討いただきたいと思う。	の対応 1) 具体的な場所の選定)
		建設場所の R312 号周辺は評価できる。	
		周辺の環境等を考えて、病院として好ましい建設場所を決めて欲しい。	
		竹田寄りになると不便になり患者数が少なくなると思う。	
		どうして今回の予定地になったのか。	現在の梁瀬医療センターの場所では、統合新病院を建設するに十分な面積が確保できないと考えていますのでご理解ください。(原案どおり)
		移転先は予定されている付近が良い。騒音、埃、用地確保の面から、道から東側か西側で道より入った処の方が良いと思う。山東方面から遠くなると云う意見もあるが、旧大蔵、糸井地区から考えると 1/3 位の距離なので医療の充実に較べると問題はないと思う。	
		今回の病院建設は、新庁舎の建設位置の変更による穴埋的な発想ではないかと思われる。建設費を出来るだけ安く上げ、病院の医療設備にお金を使う為にも現在の梁瀬病院の跡地を利用する方向でお願いしたい。	
		現在の基本計画素案よりもやや規模を縮小して、梁瀬医療センター増改築にて朝来医療センターとするのが望ましい。	
		救急対応は設備、システムのにも梁瀬医療センターでの再開が可能。新しく建物を建てる必要を感じない。予定地は公共交通機関が乏しいため、現在の梁瀬医療センターの方が適地と考える。	
	(3) 新病院	ハード面での計画を策定される際は、事前に公共交通	新病院への公共交通機関等アクセス手段の確保

	へのアクセス	機関との協議して欲しい。中核病院の移転は、市内及び隣接地域との公共交通利用者の流れが大きく変わることであり、市を含めて広域的な公共交通網の再検討も必要となる。 ----- 地区（アコバス）を数多く出してほしい。 ----- 通院への足の確保。行政の重要な課題と考える。 ----- アクセスは市当局と十分に協議をして、市内各方面から出来得る限り、直行の便が多いことを望む。 ----- 新病院までの老人患者の足の確保が一番大切。 ----- 3 1 2 号周辺は車社会のニーズにあった場所。JR 駅とのシャトルバスを設置すると良い。 ----- 交通の便を考えてほしい ----- 通院の足を確保して欲しい。	については、具体的な建設予定地を確定する作業において、関係機関との協議を行い、その確保に努めてまいります。（原案どおり） なお、基本構想(素案)では、公共交通機関等のアクセス手段確保について、“協議を行う。”の表記でしたが、“協議を行い、その確保に努める。”に修正いたします。(本文修正 P.10 (3)今後の対応 2) 新病院へのアクセス)
7. 現医療センターの後利用	現和田山医療センターの敷地は隣接する県立特別支援学校に譲渡するのが適当と思われる。（同種の意見他1件） ----- 梁瀬病院は私達の命綱。梁瀬病院を地域医療センターとして（宮城県女川町みたい）に残してほしい。 ----- 梁瀬医療センターは、周辺環境の利便性も優れており、知的や精神障害を持った方の日中活動の場と、ショートステイなどに利用できる施設や、グループホーム、ケアホームという住まいの場にも活用できると考える。 ----- 場所や設備の条件の良い梁瀬医療センターは、是非と	現医療センターの後利用については、いただいたご意見も参考にしつつ、今後、開院準備と併行して、具体的な利用方法の検討を行いたいと考えています。（原案どおりとし、今後検討を行う）	

	も医療施設(診療所)として残すべき。	
	跡地は出来得る限り特養老人ホームにして欲しい。	
	梁瀬医療センター閉院後、梁瀬地区の人々(特に高齢者)は不便になるので、診療所でもよいので残して欲しい。	

(2) 基本計画

項目	意見の概要	意見に対する病院組合の考え方
1. 施設整備方針	誰もが行きやすく、知らない年寄りがコミュニケーションを取れる院内の設備（喫茶、食堂、売店）の充実を希望。	いただいた意見も参考にしながら、利用いただく患者さんの視点に留意して、施設整備を検討してまいります。ただし、ご意見のあった全てを実施することは、採算性や建設費用等の問題もありますので、ご理解ください。（原案どおり）
	駐車場から手すりを設置して欲しい。	
	身体障害者用の駐車スペースを20台分設けて欲しい。	
	電源は再生可能エネルギーの太陽光発電を設置し、雨水は貯水タンクに溜め、トイレ等に利用するなど環境に配慮して欲しい。	
	駐車場のスペースは充分確保して欲しい。雨に濡れない工夫をし、玄関から離れた場合は屋根付き通路等も考えて欲しい	建設用地は、できるだけ有効に活用できるよう、施設配置を検討してまいります。（原案どおりとし、今後検討を行う。） 基本計画素案には、将来の改築に向けたスペースを確保すると誤解を生む表記がありますので、その
	ある程度の増築の余裕は確保すべき。 狭い面積を有効に生かす為には、高層化は不可欠。用地費用も節減になる。	

			箇所は削除します。(本文修正 P.11 1. 施設整備方針 (4) 将来に向けた視点)
		県立リハビリテーションセンターのように、広い場所でフリーウォーキング等の運動が出来るよう体育館を併設して欲しい。	リハビリテーションの充実を図る考えであり、歩行訓練等が可能な設備は設計段階で検討していきます。(原案どおり)
		新病院屋上にヘリポートの設置ができないか。	ドクターヘリの離着陸場は、今後の用地取得、設計の段階で検討していきたいと考えており、その一文を付け加えます。(本文修正 P.10 (3) 今後の対応 1) 具体的な場所の選定)
		今後、敷地内に、例えば、屋上にドクターヘリの離着陸場の設置等増設建築は考えているのか。	
2. 医療機器・医療情報システム整備方針	(1) 医療機器整備方針	建物と併せ、医療機器、人材にも充分配慮を希望する。近隣にない医療設備にし、広範囲からの患者の流入を計るべき。二度と無いこの時を充実したものにし、県下又全国の模範となる様な内容にして欲しい。 この機に医療機具の充実を。緊急を要する脳疾患など、早期治療が出来なければ、安心することが出来ない。	新病院の診療機能に必要な医療機器は、今後、具体的な整備計画を立案し、その充実を図っていききたいと考えています。(原案どおり) 医師、看護師を初めとした人材の確保育成については、病院組合の重点施策の一つであり、今後も、引き続き取り組んでまいります。(原案どおり)
3. 事業計画	(1) 事業費	過去には用地費など地元市町で提供した前例があるが、用地費も含めて全事業費を組合で負担する方針と確認してよいか。 費用を、どこからどのように調達するのか明記されていない、市民が負担するのであれば、費用最小化のための、複数案を比べ、人口減少抑制のためにも、これだけの費用は、産科医確保に回しても良いのではないのか。	建築費用は、病院組合が病院事業債を発行します。病院事業債は構成市が半分を負担することになり、豊岡市と朝来市の負担は一定割合が決まっています。財源には、出来るだけ有利なものを活用したく、構成市に発行していただく合併特例債を活用したいと考えており、その方向で構成市と協議していきます。成案にはその考え方を盛り込みます。(本文修正 P.18 (2) 財源について)

(3)その他

項目	意見の概要	意見に対する病院組合の考え方
統合に賛成	朝来市内 2 つの公立病院の統合は永年の懸案であり評価できる。	開院までのスケジュールに則り、平成 28 年当初に開院できるよう、作業を進めてまいります。
	統合し、より機能的に医療を行うという点には賛成する。(同種の意見他 3 件)	
	朝来医療センター計画実現に賛成する。1 日も早く病院建設を行って欲しい。(同種の意見他 1 件)	
統合に反対	新病院は健全経営ができるのか。全国的に病院経営が厳しい状況の中で閉院があいつぐ環境下、新病院建設は無謀と思われる。	昨年度の連携検討会議の報告書を受け、医療資源の集約により診療機能の充実を図るとの考えから、両医療センターを統合した病院を整備することとしました。 事業費については、今後、具体的な整備計画のなかで、その精査を行ってまいります。 なお、新病院では、医師確保を行い診療機能の充実を図るとともに、健全経営に努めます。
	基本構想・基本計画そのものに反対。無駄な整備をせず、梁瀬を拡張、補完すればよい。今すぐ何とかして欲しい現状の解決がみられない中で、巨額を投じての新築はやめて欲しい。先々にその負債や維持費が市民に押し掛かる事は出来るだけ避けるべき。	
	梁瀬医療センターを残し、和田山医療センターを建てかえ医師数も確保し医療行為も充実した方が患者は受診し易くなる。	
	地域密着型の梁瀬医療センターを存続させ、和田山医療センターを建て替えれば良い。高度な医療ばかり追わずとも、小さな病院が二つあっても良いのでは。	
病院名	名称は朝来病院にならないのか、何か規制があるの	病院の名称は条例で規定する必要があり、今後検

	か。 名称は「病院」とし、北と南の拠点を明確化されたい。 「朝来病院」ではいけないのか。	討してまいります。
全国に例を見ない開業医が集まったユニット型医療センターの提案	3 1 2 号沿いなら、全国何処にも例を見ないようなユニークなもの、朝来市の開業医が集まった、有床のユニット型医療センターであれば、医師の確保と開業医に集まっている患者を取り込めると思う。	今ある 2 つの医療センターの医療資源の集約により、診療機能の充実を図るとの考えから、統合新病院を整備することとしております。
新しい建物ありきで、複数案を比較検討した形跡が無い	新しい建物を造ることありきで進められており、建築費用最小化、交通利便性その他の点において複数の案を対等に比較検討したという形跡が無い。跡地の利用、今後の運営についても、希望的観測が過ぎている。	今回の医療センターの統合は、梁瀬・和田山医療センター連携検討会議の検討結果を踏まえたものであり、跡地の利用や今後の見通しについては、引き続き検討してまいります。
診療体制	午前、午後の診察を望む。	外来診療は、基本的には午前診を考えています。
地域住民への説明	検討委員会の審議経過については、十分に地域住民に説明すべき。	梁瀬・和田山医療センター連携検討会議の検討経過は、公立豊岡病院組合のホームページに掲載しております。
但馬で一つの病院組合	但馬で 1 つの病院組合は出来ないのか？	但馬で一つの病院組合については、但馬の市町が検討される事項であると考えます。